

全体	No.10
個別	03-01

平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項目	市民協働による第2次対馬市総合計画の策定を進めます。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>平成28年度開始の第2次対馬市総合計画の策定において、市民総出による手作りの計画になるよう、また、地域の資源や宝、人材を活用した地域間連携による新規産業化を目指し、地域マネージャーや外部・内部支援員、地域による協働の取り組みとして策定する地域づくり計画を最大限反映させた計画とします。</p> <p>【指標】</p> <p>地域づくり宣言及び各種団体等ヒアリング結果を基に、①ひとづくり、②なりわいづくり、③ふるさとづくり、④つながりづくりの4つを主要テーマとし、短期的に集中して実施する事業、施策を網羅した「第2次対馬市総合計画」を策定します。</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>地域づくり宣言は、全行政区(181行政区)中、98地区での作成に留まったものの、各種団体へのヒアリング、市民へのヒアリング、地区住民、島外の対馬出身の若者等へのアンケート調査等を反映させるとともに、庁舎内各部局との意見交換の機会を複数設け、実現可能性等も踏まえた第2次対馬市総合計画とし、平成27年12月市議会定例会において上程し、可決され、平成28年4月から施策を実施できることとなった。</p>	
	3. 評価	○
	<p>地域づくり宣言の策定状況や庁舎内各部局との調整、計画案の校正作業等により、当初計画スケジュールと比較すると、3ヶ月程度の遅れはあったものの、市議会の承認をいただき公表することができた。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>計画を広く市民に理解いただくため、各種会議での内容説明をはじめ、市報へのコーナー化(5月号より開始)等、情報発信を強化する。</p> <p>また、計画に掲げる施策の進捗管理についても、年1回の調査実施により、「対馬市総合計画等審議会」にて検証等も含め実施していきます。</p>	

全体	No.1 1
個別	03-02

平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課 名	政 策 企 画 課
-----	-----------

No.	項 目	対馬市人口ビジョン及び対馬市総合戦略の策定を進めます。
5	1. 組織目標	
	【 内 容 】	<p>地方の人口減少抑制のため、国が示す「産・学・官・金・労・言」にまちづくり団体、女性、若者、議会、公募委員等、オールつしまの体制にて、①移住対策、②子育て環境整備、③雇用・仕事づくり対策の3つの施策を柱として対馬市総合戦略を策定します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>①移住対策、②子育て環境整備、③雇用・仕事づくり対策に係る具体的な事業を網羅した総合戦略及び今後40年から50年後の将来人口や現在人口の社会・自然増減、産業構造等、総合戦略策定の基礎となる対馬市人口ビジョンを平成27年12月までに策定します。</p>
	2. 実績(成果)	<p>本市ならではの人口減少対策を網羅した「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、国が示す各分野の委員に市議会議員、総合計画等審議会委員、その他まちおこし団体、Uターン者、公募委員等オール対馬の体制による対馬市総合戦略推進会議と庁舎内各部局長で構成する対馬市人口減少対策本部との両輪により計画どおり策定できた。</p> <p>◎対馬市総合戦略推進会議：4回 ◎対馬市人口減少対策本部会議：3回 3部会：各2回</p>
	3. 評 価	○
		<p>本市の人口や産業形態をはじめ、合計特殊出生率や社会・自然動態等の現状に、目標設定を加えた将来人口推計、また、子育て世帯やUターン意向者へのアンケート調査結果等を盛り込んだ「対馬市長期人口ビジョン」及びビジョンで示した人口減少対策の方向性を具現化し、4つの重点戦略にそれぞれ重要行政評価指標（KPI）を設定、また、目標達成のための主要施策を掲げた「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成27年度～平成31年度）を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年11月：市議会全員協議会で説明 ・平成27年12月：公表
	4. 今後の展開	
		<p>毎年、戦略内施策の進捗管理及び重要行政評価指標（KPI）の達成状況を対馬市総合戦略推進会議にて行うとともに、市民ニーズ、社会情勢の変化に合わせ、随時、戦略の見直しを行います。</p>

全体	No.1 2
個別	03-03

平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項 目	水ビジネス事業を推進します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>一般県道瀬浦巖原港線の「内山坂トンネル」における湧水について、新たな資源と認識し、過去2ヶ年の調査結果及び昨年度実施した、熊本県内の地方公共団体が一定の関与をしている小規模施設の運営状況、市場の状況を整理したうえで、水ビジネス事業の今後、当面の取組みに一定の結論を出すこととします。</p> <p>なお、島内にて起業意向のある事業者との協議を行なうとともに島外事業意向者の発掘に努めます。</p> <p>【指標】</p> <p>平成27年度：市内の湧出地の現地調査及び湧出量（概算）調査 事業意向企業への訪問、協議活動</p>	
	2. 実績（成果）	
		<p>平成27年第1回PTにおいて、平成27年2月に実施した熊本県内の地方公共団体が一定の関与をしている事業者の運営及び生産規模の状況及び現在の社会情勢等の検討を行ない、対馬での水ビジネス事業の実現性を検討した。</p> <p>その結果、大手企業が参入している中、市場的に国内は満杯状況であること、また、韓国への輸出についても韓国内の価格設定やブランド力強化が必須であること、事業開始に際しては、まずは販路等の複数確保が前提であること等を考慮し、当分の間は、市場等の状況を注視していくことが望ましいということ合意。</p> <p>また、島内参入意向事業者との面談、協議により、現時点での参入意向は無い旨を確認した。新たな事案としては、県グリーンニューディール推進室への派遣職員からの情報により、水ビジネス意向事業者に対し内山地区と洲藻地区の水質検査結果を提供中。</p>
	3. 評価	×
		<p>熊本県内の小規模事業者の状況、国内及び韓国内市場、社会情勢等により、当分の間は、市場等の状況を注視することとなった。</p> <p>また、県グリーンニューディール推進室からの新たな情報提供は無く、昨年度から進展はあっていない。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>新たな民間事業意向者があった場合、また、新たな協議事項、展開があった場合対応していきます。</p>

全体	No.13
個別	03-04

平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	市民協働・自然共生課
----	------------

No.	項目	空き屋バンク制度登録を推進します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 U・Iターン対策として、移住者向け不動産情報の充実を目指し、空き屋バンク登録を推進します。</p> <p>【指標】 新規空き屋バンク登録件数 5件</p>	
	2. 実績(成果)	
		空き家バンク登録は1件となったものの(既に居住済み)、紹介できる物件の模索は行っており、移住希望者に対して住居の提供に関する協力は行ってきたところである。
	3. 評価	△
		登録件数は目標数を充足していない状況ではあるが、個別相談があったものについては、住宅を探す相談については、個別に住宅探しの協力を行うことはできたため、目的はある程度達成しているものと考えられる。
	4. 今後の展開	
		今後も引き続き空き家バンクの登録の推進と、移住者の相談による住宅探しの協力を行い、対馬への移住者獲得を目指します。

全体	No.14
個別	03-05

平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項目	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>観光案内・誘導板の設置により、観光情報提供機能の強化を図るとともに、観光資源までのスムーズな誘導を促し満足度の向上を図ります。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内・誘導板を島内全域に16基設置予定 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内・誘導板を島内全域に15基設置しました。 	
	3. 評価	△
	<p>目標指数を下回る設置数とはなりましたが、観光案内・誘導板を設置することで、市内各所に点在する観光地へのスムーズな誘導を促すことで、観光客の満足の向上につながると考えます。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>団体旅行から個人旅行へのニーズが高まり旅行形態が多様化してきています。また外国人観光客も急増しており、観光案内・誘導板の設置による観光地までのスムーズな誘導を行うよう引き続き、事業を継続します。</p>	

全体	No.15
個別	03-06

平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項目	国際交流イベントをはじめとした、交流人口の拡大
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>韓国で流行のMER Sの影響が懸念されますが、通年による国際交流事業の支援活動を実施し、韓国をはじめとする東アジアからの観光客の増加を図ります。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国境マラソンIN対馬 参加者数 1,400人 ・対馬厳原港まつり 観客数 31,000人 ・つしま海道音楽祭 観客数 1,500人 ・韓国人観光客数 200,000人 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・国境マラソンIN対馬 参加者数 1,306人 ・対馬厳原港まつり 観客数 約30,000人 ・つしま海道音楽祭 観客数 381人 ・韓国人観光客数 213,676人 	
	3. 評価	×
	<p>国境マラソンIN対馬は目標値に近い参加者数となりました。</p> <p>また、対馬厳原港まつりについては、朝鮮通信使行列の再現が3年ぶりに実施され、観客数は約3万人にのびりました。</p> <p>しかしながら、対馬ちんぐ音楽祭から名称を変更した、つしま海道音楽祭の観客数は381人と目標値を大幅に下回りました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>引き続き各イベントの実行委員会と連携しながら、対馬の宣伝事業や交流イベントの支援を効果的に行っていくことで、観光客の誘客に努めていきたいと思えます。特に、つしま海道音楽祭は実行委員会と連携を密にし、これまでの流れも重視しながら活動および実施の後押しを行います。</p>	

全体	No.16
個別	03-07

平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項目	商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。
	1. 組織目標	
	【内容】	<p>市内商店街は、人口の減少や過疎高齢化などにより以前の活気が失われ、にぎわいが低迷し続けています。</p> <p>しかしながら増加している韓国人観光客などの消費を取り込むことが出来れば、商店街の活性化につながる絶好の好機でもあります。</p> <p>この状況を活かすため、各事業者向けの研修会等を実施し知識や意識の啓発を行うとともに、商工業支援事業により資金面の下支えをしていきます。</p>
	【指標】	<p>商工業活性化の協議 年3回</p> <p>対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金</p> <p>対馬市農商工連携支援事業補助金</p> <p>対馬市中小企業振興(創業)資金融資条例</p> <p>対馬域内消費拡大事業</p>
	2. 実績(成果)	<p>商工業活性化協議・・・年10件以上(商工会、金融機関、企業等)</p> <p>対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金・・・金額1.6百万円 採択3件</p> <p>対馬市農商工連携支援事業補助金・・・1.6百万円 採択3件</p> <p>対馬市小規模企業融資補助金・・・融資残高76.2百万円と高水準を維持</p> <p>対馬域内消費拡大事業・・・対馬市プレミアム商品券補助金、対馬域内消費拡大事業委託(たべのる券発行)</p>
	3. 評価	△
		<p>補助金については、周知不足などもあり採択額が少額にとどまりました。今後は周知徹底を図りたいと思います。</p>
	4. 今後の展開	<p>引き続き商工業の発展・振興に努力していきます。</p> <p>新規の起業だけでなく、既存の事業者のサポートを対馬市商工会と連携しながら行っていきます。</p>

全体	No. 17
個別	03-08

平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項 目	地場製品の更なる消費拡大に取り組みます。
	1. 組織目標	<p>【内容】 物産展等の継続開催や出展により、対馬の認知度向上と特産品PR・販路開拓を図ります。 福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、認知度向上による「つしまヂカラ」戦略プランに基づき、特産品のPRと販路開拓及び対馬産品取り扱い店舗拡大に取り組みます。 一昨年オープンした「よりあい処つしま」を活用し、定期的な対馬フェアを開催することで、PR・集客・誘客はもちろん、対馬特産品取扱店舗の開拓を行います。 商品づくりの専門家による勉強会や指導・相談会の開催、バイヤーとの商談会を開催し、消費者ニーズに応じた商品づくりや販路開拓を図ります。 「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業等に取り組みます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州管内での物産展等の開催 5回以上 ・各種物産展の企画・出展・斡旋 10回以上 ・海山交流イベント 5回
	2. 実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の物産展では、主に福岡県内で8回、東京6回、長崎4回、大阪1回、釜山1回のほか多数の出展・出品を行いました。(合計30回) ・「よりあい処つしま」において、食材PRフェアを4回開催しました。(まぐろ、あなご、赤牛、アカムツ) ・海山交流イベントでは、熊本県山江村と4回、岐阜県中津川市と1回の交流事業を行いました。
	3. 評価	○
		<p>指標については、数値目標を達成することができました。 物産展への出展により、消費者の求める商品の把握ができ、商品の改良・新商品の開発等売れる商品づくりに繋がりました。また、飲食店やホテル等に食材を提供することで、物産品及び対馬のPRが図られ認知度向上に繋がりました。</p>
	4. 今後の展開	<p>継続して物産展を開催・出展することで知名度の向上を図るとともに、都市圏でのイベント開催・出展による認知度向上及び販路拡大を行います。 また消費者ニーズに応じた商品開発や販売方法等の改善を図るため、専門家による勉強会や相談・指導、バイヤー商談会を開催し売り上げの増加に繋げていきます。</p>

全体	No.18
個別	03-09

平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課 歴史のまちづくり・世界遺産登録推進室
----	-------------------------------

No.	項 目	国境を越えた文化交流を充実します
	1. 組織目標	
	【内容】	1 対馬歴史海道博物館(仮称)施設の整備推進を行います。 2 日本遺産の認定へ向けた取組とそれを生かした対馬魅力アップ事業を行い、外国からの観光客増加を図ります。 3 朝鮮通信使の世界記憶遺産登録申請へ向けて、その活動支援を行います。
	【指標】	1 ① 建設に係る県との協議 24回 ② 建設に係る文化庁との協議 3回 ③ 施設整備へ向けた設計業務事務準備(今年度中の設計委託開始) ④ みんなの博物館づくり(ソフト)事業の開始 シンポ3、WS3、講演会1 2 ① 日本遺産認定後の市内外への周知活動 講演会1回 ② 日本遺産の構成資産を生かした広報・学習活動 パネル設置 3 ① 関係会議への参加 2回 ② 随時の支援・助言
	【達成年度】	1 対馬歴史海道博物館(仮称)の完成 平成30年度 2 今年度、対馬市の日本遺産認定 3 朝鮮通信使関連遺産のユネスコ世界記憶遺産登録申請 平成27年度中
	2. 実績(成果)	1 ①②③④ 県協議13回(-9)、文化庁協議0(-3)、ソフト事業ではシンポジウム3(±0)、ワークショップ3(±0)、講演会1(±0)の実績。協働隊の加入によりソフト事業は、ほぼ予定通り実施できた。 2 ①② 日本遺産については、認定記念講演1、観光情報館にて「パネル展」の開催、市広報での特集紹介を行っている。 3 ①② 関係会議へ参加2。その他の支援等は行っていない。事務局申請完了。
	3. 評 価	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 博物館建設に関する事業推進については、年度末の時点でみれば、目標に近い成果は上げられている。本年度の反省を踏まえ、広く事業広報をはじめ、どのように市民に伝え、盛り上げていくかが課題であると考えている。 ・ 日本遺産についてはまだまだ知名度が足りず、最小限の広報周知で終わった。 ・ 朝鮮通信使記憶遺産登録関係については、他部署が担当をされており、十分な連携、支援まで至るような業務はできていない。 ・ 本年度から加わった島おこし協働隊(2名)の活躍は大きい。
	4. 今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度からは、博物館建設については1ステップ上がり、いよいよ形になっていく。長崎県、文化庁と協議を持ちながら設計業務を予定通りに進め、博物館完成平成30年度の達成目標へ今後も市をあげて進めていきます。 ・ 日本遺産については、関係者とも協議をしながら、資源の活用を観光客増加に結びつけられるような取組を模索していきます。